

声をカタチに！ なかみち通信

<http://www.komei.or.jp/km/edogawa-nakamichi-takashi/>



平成24年正月
区議会議員
中道 貴

代表質問

人間の復興を 目指す災害対策 の更なる拡充を



(問)江戸川区「基本計画」の策定について、20年先を見据えた魅力ある江戸川区を築くために、新しいまちづくりの未来像をどのように考えるか、区長の所見を。

(答)これから先10年以降は人口を中心とする環境は相当に変化していくことになる。その時のことを考えつつ組み立てていきたい。多くの高齢者がこの区内住んで良かったと実感し、若い人たちも活躍できることが幸せだと思えるような地域社会をつくりたい。

(問)被災地支援の拡充について

- ①今後の対策に被災地支援の体験の活用を。
- ②被災地支援の継続を。
- ③地域まつり等で被災地の物産販売支援を。
- (答)①支援先での経験を集約し、体系的にまとめ、防災対策に生かしていかたい。
- ②これからも積極的に行っていく。
- ③地域のほとんどどのイベントで被災地の物産の販売に取り組んでいただいている。

(問)減災社会の推進について

- ①区立全小中学校で耐震化の総点検を。
- ②民間建築物の耐震化対策の強化を。
- ③仮称「防災無線お知らせダイヤル」導入を。
- ④備えの意識を身に着けるための防災教育を。

迎えました。平成24年辰年。新しい年を迎えました。東日本大震災の被災者の皆様が、一日も早く、日常生活を取り戻すことができるようにあらゆる機会を通じて、応援していくたいと思います。更には本年も、皆様の声を力タチにすると共に、区民生活の向上に全力で取り組んでまいります

(答)①耐震工事は全て完了したが、新基準では、補強を必要とする学校があり、今年度と来年度で再度耐震化をしていく。
②国や都が拡充した施策を活用しながら、促進を図っているところである。
③防災無線のデジタル化によって、電話での内容の照会が可能となるので、導入していく。
④授業などあらゆる機会をとおして、災害というものを様々な形で教育していきたい。

(問)避難所運営について、区長の考えは。

(答)気仙沼市で職員は様々な業務を行い、学んできている。これらの体験はこれからの防災対策に生かせると考える。

(問)災害時の防災協定の見直しについて

- ①具体的な課題を想定した内容に。
- ②区内私立中学校、高校等と協定の締結を。
- (答)①再確認し、中身のあるものにしていくことが重要である。なるべく協定を増やし、力強い仕組みをつくる努力をしていきたい。
- ②協定を結んでいきたいと考えている。

(問)生まれ育った江戸川に住み続けたいとの願いを実現するための熟年者の住まいを。

(答)福祉系ケアハウスと住宅系高齢者優良賃貸住宅等があり、さらに安心できる態勢づくりに取り組みたい。重要な課題と認識している。

(問)松島四丁目の都有地の有効利用として、高台広場付きのコミュニティ会館の建設を。

(答)高台として機能するかは別問題であるが、財務局と下水道局所管の土地であり、一体で取得していくことが望ましい。そのようにしていきたいが、もう少し時間をいただきたい。



Nakamichi News



行って、見てきました！



参加メンバー

● 東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故を受け、再生可能な開発が急がれます。私たち公明党政調会は、クリーンエネルギーの本格的な開発が可能となり、工能エネルギー社会への貢献が期待できます。特に、注目すべきは水素脆化（金属に水素が吸収され強度が低下する現象）の原因を解明した点です。これにより水素燃料電池車の開発が可能となり、工能エネルギー社会への貢献が期待できます。

水素材料先端科学技術センター・水素エネルギー製品研究試験センター



研究内容を聞くメンバー

破裂した水素ボンベ

実験内容を拝見

[議会役職・所属委員会]

- 議会公明党副幹事長 同、政調会長
- 災害対策・街づくり推進特別委員会 委員長
- 福祉健康委員会委員
- 農業委員会委員



あなたの街のご相談は、
中道たかしまで

区議会公明党

TEL: 03-5662-5112

FAX: 03-3674-5860

自宅 TEL/FAX: 5607-0835

江戸川区大杉1-1-1-703

ファーストシーン新小岩南クオーレ

無料法律相談
(第1~4金曜日)

受付：午前9時～

相談：午後2時～

場所：公明党控室

電話：5662-5112